

よとみ 養蚕だより

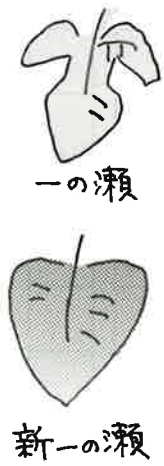
増刊号

編集・発行
中央市
豊富郷土資料館

資料館の蚕 成長記録

今年の七月から飼育した蚕が繭になりましたので成長記録をお届けします。

七月二十六日、富士川町の芦澤養蚕さんから三齢の蚕を迎えました。まだ小さかったのですが、二丁十に新聞紙を敷いて蚕座とし、資料館受付の横で飼育をはじめました。



えさの桑は、資料館周辺に自生した木から毎日摘みました。

朝・昼・夕方と大量に与えましたが、毎回あつという間に食べ尽くしました。

大半が元気に育ちましたが、病気が若干ありました。

体がかすかに茶色い蚕や川さすぎ

る蚕などは、発見し次第別の箱に移し感

染拡大を防ぎました。

脱皮に失敗した蚕も

いました。それでも

九割以上が無事に成

長し、繭を作りました。

上簇は八月十三日です。前日から桑を

ほぼ食べず、一部の蚕が活発に動きはじめました。体が一回り縮み、飴色に透き通ると上簇の合図。準備した回転簇に移すと、早い蚕は夕方に糸を吐きはじめました。

簇に上った蚕も居

る一方で、桑の葉の中や蚕座の隅で繭と

作った蚕もいました。

上簇は十九日まで断

続的に行いました。

最終的に、繭は二百九十四粒できまし

た。今回の繭のうち

十粒は羽化まで見守

ります。残りは乾燥

させ工作などに活用

します。



羽化の様子や乾繭の様子などは次号以降ご報告します。